

第2回青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル 実施報告書

実行委員長 成田容子

〒030-0801 青森市新町 2-8-20 柳ビル 5F

NPO 推進青森会議事務局気付

1. 実施概要

日程： 2007年7月21日（土）

会場： 青森駅前アウガ5F カダール AV 多機能ホール

料金： 前売り券 2,000円（当日券 2,500円）

チケットは通し券のみ

主催： 青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル

協力： 関西 Queer Film Festival 実行委員会

東京国際レズビアン&ゲイ映画祭 運営委員会

Asian Queer Film & Video Festival

後援： 特定非営利活動法人 NPO 推進青森会議

2. プログラム内容

13:00～ プログラム1

HANDS 監督：河村昌伸、勅使河原雄蔵

日本 2005年 59分

14:30～ プログラム2

僕のマリオおじさん 監督：ナーマ・ザルツマン

イスラエル 2003年 18分 日本語・英語字幕あり

イノセント 監督：クリフ・カーファイ・モック

カナダ 2004年 6分

トップ・オブ・ザ・ワールド 監督：マヤ・ケニー

イスラエル 2005年 15分 日本語・英語字幕あり

15:30～ プログラム3

GAPIMNY 15 監督：竹内謙一郎

USA 2005年 7分 日本語字幕あり

16:00～ プログラム4

In God's House 監督：リナ・ホシノ

USA 2006年 22分 日本語字幕あり

チャイニーズ・ニューイヤー・パレード 2006 監督：リナ・ホシノ  
USA 2006年 8分 日本語字幕あり

16:50～ プログラム5  
その月が満ちるまで 監督：iri  
日本 2007年 60分

ご挨拶をいただいた方々

阿部未華さん（岩手大学ジェンダー研究会）  
太田ふとしさん（THCGV やろっこ & Anego）（仙台）  
竹村勝行さん（NPO 法人 札幌レズビアン・ゲイ・コミュニティサポートセンターat（アット））（札幌）  
土井香苗さん（弁護士、ヒューマン・ライツ・ウォッチ）（東京）

3. チケット売り上げ数： 109 枚（前売り 105 枚、当日 4 枚）

#### 4. 広報活動

ウェブサイト 公式 HP：<http://aomori-lgbtff.org/>

ちらし A4サイズ：両面カラー 1万枚

ポスター A2サイズ：カラー 200枚

新聞掲載

毎日新聞（6月5日）  
陸奥新報（6月24日）  
東奥日報ウイークリーかわら版（6月30日）  
東奥日報（7月8日）  
岩手日報（7月10日）  
ふえみん 婦人民主新聞（7月15日）  
東奥日報（7月22日）  
岩手日報（8月2日）

TV

RAB「@生てれ」（7月6日 16:00～）

雑誌、その他

Badi（8月号）  
クリッパー青森（6月下旬）など

#### 5. アンケート結果

別ファイルをご参照ください。

#### 6. 会計報告

別ファイルをご参照ください。

## 7. 総括

第2回青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバルは、「アジアの映画」をテーマに開催された。観客の方々は、青森県内ばかりではなく、東北、北海道、関東からもいらして下さった。昨年に引き続き、年代、セクシャリティともに幅広い観客を得たと感じている。

各プログラムの始まる前に、全国の組織で活動されている4名の方々が団体紹介をして下さった。このコーナーは昨年も今年も大変好評である。観客の方々にとっては、全国で展開されている様々な活動の一端を知る貴重な機会であると思われる。「もっとお話を聞きたかった」「映画もいいが、このコーナーがとてつもない」「今後の活動のために大変参考になった」という声もあった。遠方から駆けつけ、スピーチをしてくれた4名の方々には心から感謝している。

アンケートによると、作品、会場、スタッフの対応など、あらゆる面において良い評価を得た。昨年に引き続き、2度目の観客の方も多かったようだ。「来年も是非また来たい」というコメントもあった。今年初めて当日スタッフとして働いてくれた3人からは、「楽しかった」「来年も是非また参加したい」との声が聞かれ、嬉しく思っている。

また、今年は映画祭終了後もEメールなどで多くの貴重なご意見をいただくことができた。映画祭をより良いものにしていくためにどうしたら良いかなどを考えて提案して下さった方もいた。心強い応援を得たと深く感謝している。これらのご意見、ご提案を参考にしながら、来年の映画祭のことを考えていきたい。

最後に、今年もまた全国の多くの方々のご支援、ご協力を得ての開催となった。色々な面で力を貸して下さったの方々には心から御礼を申し上げたい。これからも、より多くの方々にご来場いただくことを心がけ、内容の充実に努めていきたい。